

2011 年度 京都・宗教系大学院連合シンポジウム

宗教は、復興支援の為に何ができるのか？

— 学生からの報告と提言 —

日時：2012年3月10日(土) 午後2時より

場所：龍谷大学 大宮学舎清和館

[報告]

金田 正隆 (種智院大学)

岩田 彰亮 (龍谷大学大学院)

安田 空源 (高野山大学)

河崎 顕祐 (大谷大学大学院)

熊谷 沙蘭 (同志社大学大学院)

東海林 良昌 (佛教大学大学院修了)

[ディスカッション]

司会：吉田 叡禮 (花園大学准教授)

今回のシンポジウムは昨年3月の東日本大地震と津波の被災地に対するボランティア活動に、宗教者特に宗教を学ぶ学生・大学院生がどのような活動をしてきたのか、その中でどのような思いや学びを得たのか、という事を1年目の区切りの日に話し合いながら相互の情報を交換し、今後継続して行われるべき活動の示唆を得たいという目的で企画されています。

京都・宗教系大学院連合

事務局：佛教大学 文学研究科 小野田俊蔵 研究室

Tel：075-491-2141(代) E-mail：staff@kgurs.jp